

発達障害・行動障害の基礎と応用

～梅永雄二先生・志賀利一先生講演会～

を受講してきました。

平成 29 年 2 月 23 日 (木) 10 時～16 時

小樽経済センター7 階

第 1 部 「安心した生活を支えるための基礎知識」

～生活に困難を抱える発達障害児者の特性と理解～

講師：志賀利一氏（国立重度知的障がい者「望みの園」事業企画局研究部長）

◎内容

障害者の一生における 3 つの課題の定義について一つ一つ説明していただきました。

知的障害を伴う自閉症の方と発達障害の方の人生から考える

- ・教育コースの選択
- ・職業生活の継続
- ・親亡き後の生活

第 2 部 「いつ」「どこで」「何をどうやってするのか」を見える化の方法

～発達障害児者が地域で生活するための環境づくり～

講師：梅永雄二氏（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

◎内容

地域生活において最も重要なスキルは「ライフスキル」である。

- ・ライフスキルとは、万人共通のスキルではない。言い換えるならば「その方が自分の地域で生活していくために必要なスキル」
- ・その方が自分の力を出せるように将来を見据えての「見える化」「構造化」

○受講を終えて

直接的支援における考え方やノウハウについて、「現場経験に基づくもの」というニュアンスよりは、さらに専門的な見地、アカデミックな側面から見つめ直す良い機会を頂戴しました。今、関わっている方のこの時だけではなく、人生として見て安定した生活が送れるようにその年代年代に必要な支援や制度を見ていく視点や施設や事業所だけで頑張るのではなく、色々資源を使って行くことなど考えるきっかけになりました。

大きな話にはなりますが、障害者の一生について、一部の人間だけが考える時代はもうとっくに古いのではないのでしょうか？国が、道が、市が、町内会までもがもっと親身になって身近に捉えられるような「社会」は誰が創るのでしょうか？それは我々のような現役世代の若者だと思います。人任せにしてただ日々を過ごすだけでは、そのような未来は訪れないでしょう。そういった「責任感」や「覚悟」というものが現在の福祉の世界には最も必要なスキルであると改めて感じるような良い講演であったと思います。